

令和5年度 学校経営方針

京都市立七条小学校

【学校教育目標】

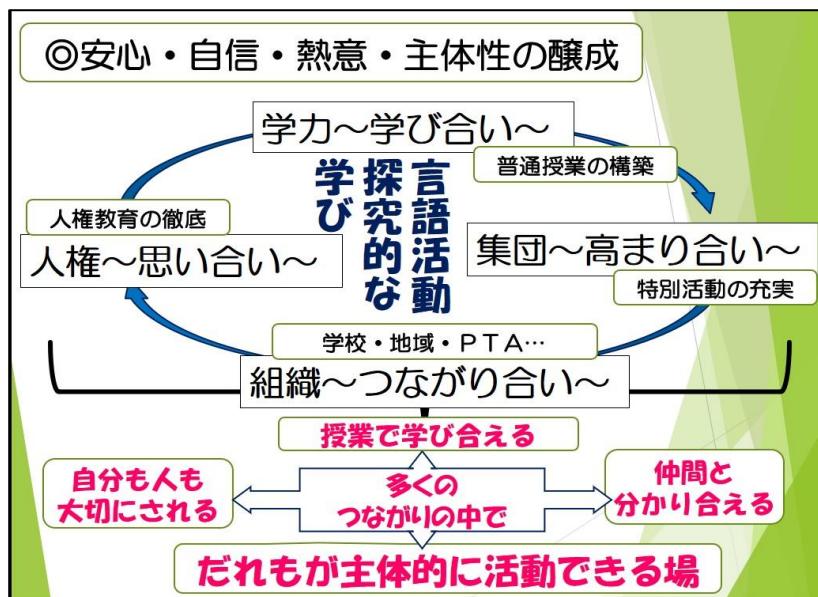
だれもが、安心・自信・熱意にあふれ、主体的に活動し合える場
～学び合い、高め合い、思い合い、つながり合い～

【めざす学校の姿】～子どもも大人も～

学び合う	(学力)	～よりよい対話を 言葉で学び合おう～
高まり合う	(集団)	～仲間との協働 共に成長しよう～
思い合う	(人権)	～誰一人取り残さない だれをも大切にしよう～
つながり合う	(組織)	～あらゆるつながり 支えに感謝しよう～

【めざす5つの学校経営の柱～自信と安心・熱意、そして主体性へ～】

- ①「わかる」「できる」「楽しい」「やりたい」「対話」があふれる普通授業の構築
- ②認め合い、高まり合える集団を育成する特別活動の充実
- ③誰一人取り残さない理念を育てる人権教育の徹底
- ④自他を大切にする規範意識、公共心の涵養
- ⑤校内、地域、保護者、校種間等、あらゆる場での情報共有力と活用力・組織力の向上



4. 目標達成のための具体的な取組と方法

○豊かな心の育成

- ①人権教育の徹底
- ②総育的支援の充実
- ③規範意識、公共心の育成
- ④高まり合う集団作り
- ⑤多くのつながりの中での協働

○確かな学力の定着

- ①探究的・主体的・組織的、系統的な授業、取組を行う。
- ②「分かる」「できる」「楽しい」「やりたい」「対話」が実感できる普通授業の充実を図る。

○健やかな心と体の育成

- ①体を動かす爽快感、達成感を味わえるような環境整備や体育の授業の充実を図る。
- ②飲酒、喫煙、薬物の有害性を説く。
- ③自身を守る知識を身に付け、適切に行動できる安全教育の充実を図る。

○子どもの学び育ちを支える教職員のあるべき姿、体制を目指して

- ①学年主任を中心とした学年運営の構築
- ②分掌主任等を中心とした学校経営の充実
- ③効果的、組織的、継続的な体制構築を目指す。
- ④子ども、保護者、地域から見える望ましい教職員の姿から、チームとしてもさらなる高まりを目指す。